

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

夏休みとお休み相場 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 中里 信介

今週のドル円予想レンジ **109.00 ~ 110.50**

りそなWEEKLY COLUMN

ダイバーの心得 (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
曾根 正輝

- スキューバダイビングは楽しいが、危険性がある
- 危険性に対する最大の対処法はパニックにならないこと
- パニックにならないためにも日ごろから対処方法を検討しておくことが重要

2021/8/16

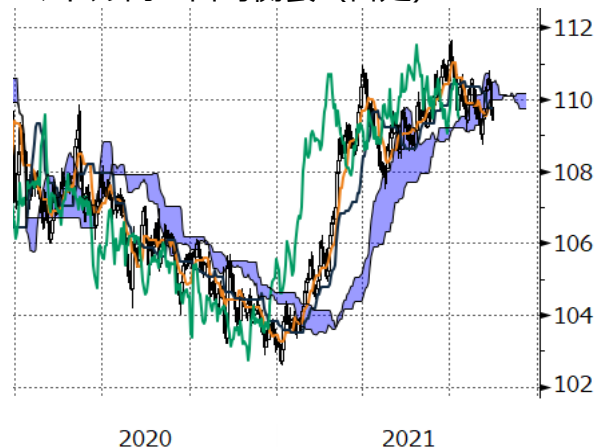
りそな外為レポート

夏休みとお休み相場

今週のドル円予想レンジ **109.00 ~ 110.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週のドル円相場は、前週の良い米雇用統計の結果を引継ぎ、110円台にしっかり乗せた位置からスタート。これまでのFRBからのアナウンスである「インフレは一時的、雇用の改善を待つ」という状況を裏付けるように、消費者物価指数はピークを付けたような結果を示すと、リスクオンへと傾倒。米国株価は連日最高値を更新し、米金利上昇・ドル高へと推移した。一方で、金曜日に発表された消費者信頼感指数は非常に悪い結果となり、依然としてデルタ株による感染再拡大への警戒感が渦巻く展開。夏休みで市場参加者が少ないなか敏感に反応を示し、ドル円相場は雇用統計後の上昇分を吐き出す形で、109円台中盤まで円高ドル安が進行した。

今週はFOMC議事録が公表される。前回FOMC後にはFRB高官から相次いで緩和縮小への言及がみられるが、実際の議論がどのように進められているのかに焦点が当たる。金曜日の指標でやや腰折れとなった感はあるが引き続き緩和縮小・ドル高への警戒が続いていくだろう。

(カスタマーディーラー 中里信介)

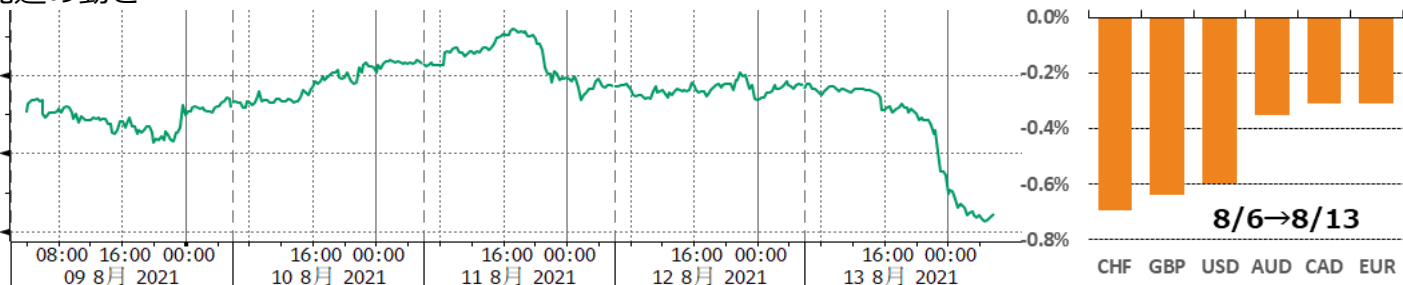
◆今週の日程

16日(月) 日	21/2QGDP1次速報	18日(水) 米	7月住宅着工・許可件数
16日(月) 中	7月生産・小売・投資	18日(水) 米	FOMC議事録 (7/27,28)
17日(火) 米	7月小売売上高	19日(木) 米	8月フィラデルファイ連銀製造業指数
18日(水) 日	6月機械受注	20日(金) 日	7月CPI
18日(水) 日	7月貿易統計	22日(日) 日	横浜市長選挙

◆今週の予想 (ドル高強い ↑ 普通 ↑ ドル安強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 8月9日(月) 110.29円 VS 8月13日(金)

りそな(東京)					りそな(大阪)					埼玉りそな					関西みらい					みなと											
井口	小林伸	石川	田中	中里	范	伊藤	村永	岩田	小林翔	上野	曾根	鈴木	武富	湊真	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川
↑	休	↓	↓	↑	↑	↑	↓	休	↑	↑	↑	↓	↑	↑	休	↓	↑	休	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑

◆先週の動き



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/8/16

りそな WEEKLY COLUMN

ダイバーの心得

- スキューバダイビングは楽しいが、危険性がある
- 危険性に対する最大の対処法はパニックにならないこと
- パニックにならないためにも日ごろから対処方法を検討しておくことが重要

りそな銀行 市場トレーディング室
曽根 正輝

➤ ダイビングの楽しさ

賛否両論ありながらも一年越しのオリンピックを終えた夏も間もなく終わろうとしている。筆者は夏といえば海派であり毎年、スキューバダイビングを行っている。ここ2年間は残念ながら行えていないが、本稿では来年以降に期待をこめて、スキューバダイビングの楽しさや難しさについて紹介したい。

ダイビングの一番の楽しさは哺乳類でありながら海中を自由に移動することができる「非日常感」だと感じている。陸上では味わうことのできない、海中で上下左右に動くことのできる自由や浮遊感など水と一体になる感覚がとても心地が良い。また、言葉にするのは難しく経験するとわかるのだが、肺に入れる空気の量を調節することで、手足を動かさなくても浮いたり沈んだりすることができる。いわば魚の浮き袋のような役割を肺で意識的に行い、浮力を操るのだ。もちろん、魚やサンゴ礁、地形、水中に降り注ぐ太陽の光など、神秘的であり未知の光景にも心が震わされる。

➤ ダイビングの危険性

ただ、楽しいばかりではなく難しさ、怖さもある。ご存知の方も多いと思うが、スキューバダイビングはライセンス制であり、筆記、実技試験に合格をしたもののみ行うことができる。ライセンスを所持していない方向けの、体験ダイビングもあるがインストラクターのもと、行動や水深の制限がある。なぜかという、ダイビングは一步間違えれば命の危険があるからである。ダイビングの危険性を筆者なりに大まかに3つに分類した。

1. 水中、海上で迷子になること
2. 水中で酸素ボンベが外れて呼吸ができず溺れてしまうこと
3. ボンベの取り扱いや気圧により体へダメージを負ってしまうこと

これらについての対処法を完璧に理解したことが確認できるまでダイビングを行うことは危険なためライセンス制となっている。それぞれ危険性や対処法について解説する。



りそな WEEKLY COLUMN

➤ 危険性への対処法



1については意外にもよくあることであり、魚やサンゴ礁に見とれていると引率のインストラクターやバディから離れてしまうことがある。水中は陸上よりも視界が悪いため10M離れただけでも見えなくなってしまうこともあるためだ。離れないようたえず注意することが大事だが、迷子になった場合は、1分ほど探した後、海上に浮上し見つけてもらうことになる。

2についても、ボンベが岩などにぶつかり外れてしまうこともよくある。筆者もボンベが外れてしまったり、残りの空気がなくなってしまったことが数回ある。その際は外れたボンベを探すか、近くにいるバディから緊急用の酸素をもらう必要がある。

3については水中から急浮上した際に起こる危険性であり具体例をあげる。例えば、水深20Mにて酸素ボンベを使い肺に空気を入れた状態で水面に向かい急浮上すると、肺の中の空気は膨張し、最悪の場合、破裂してしまう。対処法は、絶対に急浮上をしないことである。万が一、急浮上をする場合は、肺の中の空気をすべて吐き出すために、「アー」と叫びながら上を向きながら上昇する必要がある。

➤ 危険性への心構え

ここまで、危険性について長々と記述してしまったが、すべての危険性についての予防、対処法について共通する心構えがある。それはパニックにならないことである。1のように海中にて迷子になったとき、パニックになり海中を全力で動き回れば、体力、酸素を消耗して、溺れるなど悪循環になる。冷静であれば、海中であっても意外にも対処可能な時間はあり、適切に解決に向かうことができる。では、パニックに陥らないためにはどういった対策をたてればいいのか。筆者は次の一手を常に想定しておくことだと考えている。次に起こる悪い事象を想定し、対処法を2つ3つ事前に考えておけば、いざ事象が起こったときにパニックにならず冷静に行動できる。

➤ マーケットの世界



マーケットの世界においても、こうした緊急事態は起こりうる。2001年の米国の同時多発テロ、2011年の東日本大震災はともに翌営業日の日経平均が1日で6%超下落する事態となった。まずパニックにならないこと、そして、パニックに陥らないためにも、日ごろから、リスクシナリオを想定し、シミュレーションをしておくことが、致命的な傷を負わないためにも重要な視点となろう。